

⑩北海道開拓と北海道旧土人保護法



北海道「開拓」

『北海道地券発行条例』（1877）

アイヌの人たちの住む土地を官有地とする。

北海道旧土人保護法 明治22（1899）

アイヌの人たちの保護を名目

同化政策

農耕を生業とするように

アイヌの伝統文化の否定

○入墨禁止、耳飾り禁止、サケ禁漁

学校教育における差別（4年間の義務教育 修身重視・地理歴史理科を教えない）

⑪先住民族として

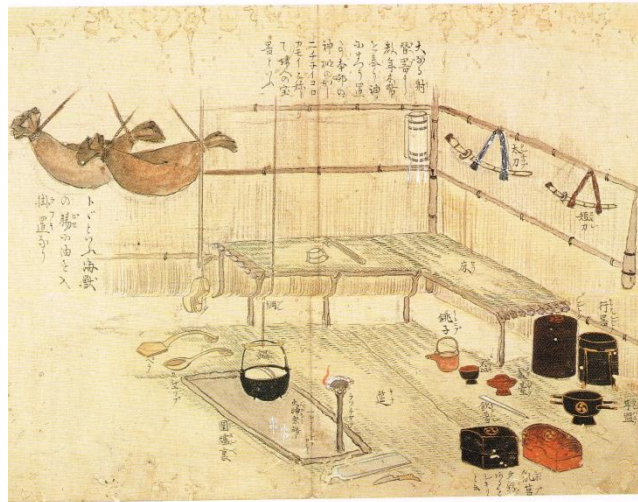
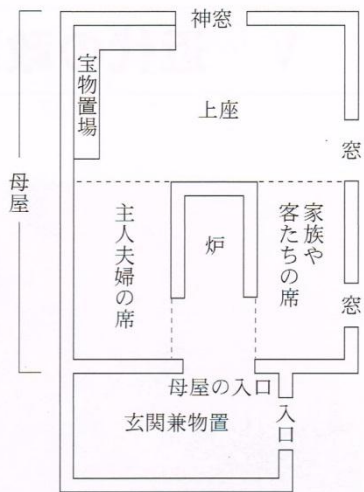
—アイヌ文化振興法—

==設立経緯



- ①アイヌ民族への差別 就職差別
 - ②北海道ウタリ協会から北海道アイヌ協会へ（ウタリ 人民・同胞・仲間）
 - 先住民族の土地を取り戻す
 - 文化・伝統の伝承
 - 「日本単一民族論」に抗議する
- 「アイヌ民族の文化の復興並びにアイヌ民族の伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律の制定」
- ◎子どもやお年寄りを大切にする社会
 - ◎物を大切にし、自然と共に生きる
 - ◎交流の広がり争いのない社会

⑫ アイヌの人たちのすまい —チセ—



図Ⅳ-1：十勝地方のチセ（家）の内部



入り口から見て左側が主人夫婦、右側が家族。上座は神聖な儀式空間。炉は火の神がいる。宝物置き場には家の神をまつる。



⑬ アイヌの人たちの風習



儀式の時に使用する弊冠（へいかん・サパンベ）
ムックリ（アイヌの人たちの楽器）
イヨマンテの踊り

⑭ アイヌの人たちの信仰



霊送り 食糧をはじめ人間生活に必要なものをカムイ（神）が人間世界に降ろしたものを、感謝して送り返す儀式。この最高で重要なものが「イオマンテ（熊送り）」である。

⑮ アイヌの人たちの衣（はたおり）

はたおり

アイヌ民族には古くからはたおりの技術が伝わっていました。
はたおりは、オヒョウやイラクサ、ツルウメドキなどの植物の繊維を用い、たて糸によこ糸を交互に通してへらでしめて布にし、織り上がにつれて前へ進む技法が用いられました。

Weaving

The technique of weaving was handed down the generations of the Ainu people from ancient times.
Weaving was done by using the fibers of plants such as the Manchurian elm, Nettles or Staff tree etc, which were alternately interwoven vertically & horizontally and tied to a paddle to get the cloth. The Ainu people had been using a very advanced technique of weaving since ages.



「動物素材」 トド・クマ・シカ・タヌキ・サケ・マス
「植物素材」 樹皮（オヒョウ）草皮（イラクサ）
「木綿衣」 江戸時代以降 本州より伝わる